

荒井 秀典

医学士、医学博士。2019年に国立長寿医療研究センターの理事に就任。日本老年学会理事長、日本老年医学会副理事長、日本サルコペニア・フレイル学会代表理事を兼任する。また、Asian Academy of Medicine for Ageing 理事長、アジアフレイル・サルコペニア学会の副理事長も務める。2020年10月より、日本学術会議のメンバーに加わる。

1984年に京都大学医学部、1991年に京都大学大学院医学研究科・医学部卒業後、キャリアのほとんどを京都大学医学部老年科にて過ごす。2009年、京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授に就任後から、フレイルおよびサルコペニアに関する研究に没頭。2015年、国立長寿医療研究センター副院長に就任。2018年には同センター病院長、2019年には理事長に就任。アジアにおけるサルコペニアワーキンググループの共同委員長であり、主な研究分野はフレイルとサルコペニアである。